

---

第 203 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2009 年 8 月 30 日(日) 17 時 30 分~19 時 00 分

場 所: 本館 6 階 601 教室

演 者: Rebecca Z. German 氏 (Johns Hopkins University / Professor)

タイトル: **The Impact of Rhythmic Behavior on the Pharyngeal Swallow**

咽頭嚥下のような反射活動が、吸啜運動のようなリズムカルな運動の中で発現するメカニズムはまだ明らかになっていない。今回、演者は、下記の 3 つのモデルにおける筋電図活動の解析から明らかになった知見を発表する。(1) 除脳動物でのリズムカルな運動なしでの孤発的な嚥下(2) 除脳動物でのリズムカルな舌と下顎運動とともに起こる嚥下(3) 神経学的に正常な動物でのリズムカルな運動とともに起こる嚥下。これらのモデルにより、リズムカルな活動と神経システムの異なる部位が嚥下に与える影響を検証することができる。演者らは、全てのモデルにおいて同じように起こった嚥下の筋電図活動の核となるパターンを発見した。しかしながら、吸啜の中心となる二つの筋肉、オトガイ舌骨筋と顎舌骨筋、はモデル間で異なる活動を示した。これらの結果から、これらの筋肉の変化した筋電図パターンは、摂食活動の異なるレベルでの神経学的制御を表しているのではないかとの仮説を提唱する。

担当: 健康増進口腔科学講座 松尾浩一郎